

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司



↑ 大般若会法要の様子

大般若会・大施食会修行

恒例の年中行事であります大般若会・大施食会が、3月10日に修行されました。本年も約100名程の檀信徒始め関係各位が集い、江戸時代から続く伝統の行事を勤める事が出来ました。大般若会では、高崎市指定重要文化財でもある約370年前の大般若六百巻を随喜の30ヶ

寺程の御寺院様と共に転読し、御祈禱申し上げました。また、大施食会では、檀信徒各家先祖代々菩提供養は勿論、縁に繋がる全ての諸精霊に回向する法要を執り行い、卒塔婆を建立申し上げました。併せまして、東日本大震災物故者三回忌の供養を修行致しました。



↑ 大施食会法要の様子

同法会に先立ちまして、東京巣鴨とげぬき地蔵尊で有名な曹洞宗高岩寺御住職・来馬明規老師に御法話を頂戴いたしました。名刹の住職としては勿論、医師としてもご活躍されており、特に専門の循環器内科の経験から禁煙運動の第一人者として知られております。来馬老師は、2基のプロジェクター及びスクリーン等を使い、視聴覚を通し判り易く喫煙の害について説明されました。老師の威儀は、袈裟や帽子と呼ばれる法衣に禁煙マークが入っており、禁煙推進活動についての並々ならぬ熱意が感じ取れました。また参列者全員に自著『祖師に学ぶ禁煙の教え』を配布。同法話を聞き、禁煙された方もおられました。老師の思いが伝わる御法話を賜り、感謝申し上げます。

また、当山では文化財保護の観点より火災防止の為、また喫煙活動のもたらす諸々の害悪を防ぐ為、山内禁煙とさせていただきます。ご理解ご協力をお願い申し上げます。



東京巣鴨とげぬき地蔵尊高岩寺御住職・来馬明規老師 ↑

平成25年

仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/10 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13~7/16 新暦孟蘭盆会
京浜地区檀信徒棚経
- 7/29~7/30 第32回子供禪の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 孟蘭盆会
- 9/20~9/24 秋季彼岸会
- 10/19 檀信徒研修参拜旅行
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

※毎週土・日曜日 書道教室
 ※毎週水曜日 定例坐禅会
 ※隔週水曜日 梅花講・琴教室・華道教室

仁叟寺各種研修参禅会のご紹介

①第51回群馬緑蔭禅の集い

(6月28日～30日、主催・群馬県曹洞宗青年会)

群馬県曹洞宗青年会主催の第51回群馬緑蔭禅の集いが、仁叟寺を会場に修行されました。42名の参加者と40名を超える青年会会員により、51年目の伝統ある参禅会が無事圓成出来ました。今回は「誓願」をテーマにし、太田市金龍寺御住職・青木龍峰老師の御法話や仁叟寺住職式師のもと仏前結婚式が執り行われました。また、梅花講の皆様方のお手伝いや、檀信徒の堀越三男氏による中食供養が勤められました。



↑ 緑蔭禅チラシ

②サンコーグループ社員研修坐禅会 (4月1日、主催・サンコーグループ)



↑ 坐禅風景

サンコーグループ創立者の仁叟寺再中興開基・故寺本欣正翁発願寄進により建立された仁叟寺坐禅堂にて、恒例のサンコーグループ社員研修坐禅会を今年も行いました。創立者墓参の後、坐禅堂にて参禅。終了後に住職によるご法話、お粥の昼食が振る舞われました。サンコーグループは寺本欣一治社長のもと、先代の志を継ぎ、堅実な経営に勤しんでおられます。

③究禅会一泊坐禅会 (6月8日～9日、主催・究禅会)

高崎経済大学名誉教授・武井昭先生主宰の究禅会恒例の宿泊研修坐禅会が本年も仁叟寺を会場に修行されました。究禅会は、40年以上の歴史がある参禅会で高崎市長松寺様を舞台に活動されております。宿泊坐禅会は毎年の恒例行事として仁叟寺で行われ、坐禅のほか武井先生による仏教経済学の講義等も行われました。

④武蔵野大学一泊坐禅会 (3月25日～26日、主催・武蔵野大学仏教文化研究所)



↑ 五輪桜下での記念写真

武蔵野大学教授・田中ケネス先生は、浄土真宗の僧籍もあり、同大学仏教文化研究所を主宰されております。今回、東洋大学文学部教授・渡辺章悟先生より紹介を受け、宿泊坐禅会が仁叟寺にて行われました。坐禅のほか、命について学生同士深く考える時間を持つ事が出来、実りある参禅会が行えたとの参加者一同によります御礼のお手紙も頂戴いたしました。

⑤第32回こども禅の集い (7月29日～30日、主催・仁叟寺)

今月末に恒例の子供禅の集いが行われます。今年で32回目となります仁叟寺の子供禅の集い。夏休みを利用し、小学生3年生～6年生がお寺の本堂で宿泊し、坐禅を組み自然に親しむ集いです。また、楽しい集いや法話のほか、志賀一夫、白田豊両氏によりますペットボトルのロケット作成の講義等も行われる予定です。

日現在で定員の40名を超える申し込みがございました。お寺での生活を糧に実りある集いに、また楽しい思い出を作っていただこうと山内関係者一同、入念に準備を進めております。



↙ ↓ 昨年の子供禅の様子



第58回總和会関東大会群馬大会無事圓成



↑大会で導師を勤める住職

第58回總和会関東大会群馬大会が、去る6月6日～7日に掛けて群馬県渋川市のホテル天坊にて修行されました。関東管区一都七県（山梨県を加えた関東地方）のご寺院様370名程が集い、盛会裏に同大会を圓成する事が出来ました。

仁叟寺住職が関東管区の理事長を務め、今大会を統括させていただきました。大会では、大本山總持寺副貫首・石附周行老師、大本山總持寺監院・乙川暎元老師、曹洞宗宗務総長・佐々木孝一老師、總和会本部会長・鬼生田俊英老師ほか宗門を代表する来賓諸御老師の御臨席の下、神奈川県徳善寺御住職・尾崎正善老師

による御法話や地元群馬県の東京藝術大学OBOGによるユニット・ムジカコンカドーロによるクラシック演奏等が催されました。

吉井町仏教会会長を拜命

本年度4月1日より、仁叟寺住職が吉井町仏教会会長を拜命いたしました。同仏教会は、昭和33年（1958）、仁叟寺再中興開山二十九世住職・渡辺石橋老師を初代会長のもと、新たに設立されました。先代渡辺隆司三十世住職（現東堂）も第四代会長を務めておりました。以来、50年以上の歴史を有し、現在会員寺院は、22ヶ寺を数えます。

同会では、毎年盂蘭盆会（8月）の恒例行事であります鐺川畔での精霊流し供養法要のほか、各種行事を宗派を超え、協力して行っております。



吉井町仏教会会員諸老師によるお盆の精霊流し供養（鐺川畔）

秋の研修参拝旅行、参加者募集中



↑日本三名園の一、紅葉の偕楽園

今年の秋の仁叟寺主催・参拝研修旅行は、茨城県を予定しております。一昨年に北関東自動車道が全線開通し、比較的近い地域となりました。

研修旅行は、毎年恒例の10月第三土曜日である10月19日土曜日を予定しており、日本三名園の一つである水戸の偕楽園のほか、水戸光圀公縁の曹洞宗古刹・祇園寺様、菊祭りでは有名な笠間稲荷神社等を廻ります。また、大洗の海産物販売センターに立ち寄り、被災地でもある茨城県を支援しようとも思っております。

是非、この機会に檀信徒の皆様方の御参加をお待ちしております。檀信徒以外の参加も、勿論構いません。奮っての御参加を、何卒宜しくお願い申し上げます。

仁叟寺が高崎市避難所に指定されました

去る5月23日（木）、仁叟寺が高崎市指定避難所となりました。

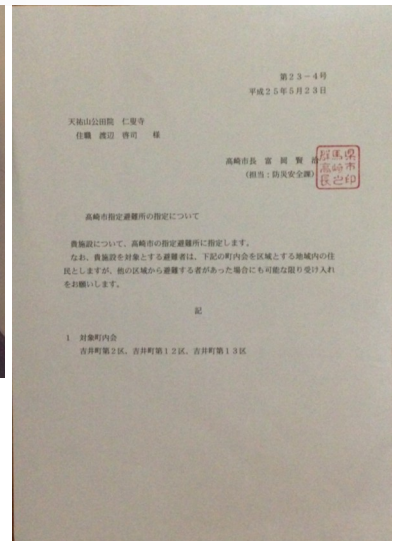
それを受けて、高崎市より災害用備蓄品セットと指定文書が送られました。なお、同指定は、高崎市に於きましては、民間では初めてとなります。

東日本大震災より丸二年以上経過しております。東北の被災地では、数多くの寺院が各地域の防災基地として活躍されたとの話しを伺っております。「備えあれば憂いなし」、地域の為、市指定の避難所として果たすべき任に当たらせていただきます。

また、7月7日の総代役員合同会議では、高崎市防災安全課より指定についての御報告がございました。関係各位のご協力とご尽力に感謝申し上げます。



↑ 高崎市災害用備蓄品
高崎市指定避難所通知書→



仁叟寺倉庫移動改修工事終了



↑ 倉庫撤去移動工事風景 現在の様子↑

仁叟寺裏庭にありました倉庫を移動し改修いたしました。以前より、高崎市指定天然記念物である「モクの木」の景観より御意見御提案をいただいております。そこで、モクの木の前にある倉庫を移動し、その廻りの環境整備を行わせていただきました。

なお、「モクの木」とは吉井地域の方言であり、正確には「椋（ムク）の木」と称されるようです。樹齢は350年以上経過。仁叟寺の鬼門である北東を護る大木です。最近では、空師と呼ばれる方により枝打ち作業が行われたり、当山でも、その環境保全対策を出来る範囲で行っております。様々な伝説も残るモクの巨木でございます。当寺のみならず地域の大切な宝であることを認識し、その保全に対し、尽力させていただこうと思っております。

行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

先日修行されました總和会関東大会群馬大会では、多くの関係各位の参加を以て盛会裏に勤める事が出来ました。拙僧も微力ながらお手伝いをさせていただきました。

その大会の記録映像を収めたビデオ機材が、仁叟寺境内よりなくなっていました。ほか、法衣や充電器等も入ってありまし

たが、何よりも記録映像のデータの紛失は、頭の痛いところです。既に地元吉井交番にて紛失届を提出いたしました。もし、お心当たりのある方は、仁叟寺迄御一報いただければ幸いです。（龍）

